

輸送経済 2/17

THE YUSO-KEIZAI

第2834号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

韓国・釜山に保税倉庫完成

福岡運輸システムネット

国際ハブとして企業誘致へ

国・釜山の倉庫が先ごろ完成した。北東アジアの国際物流の拠点として企業誘致を目指す。釜山港は東京港の四倍近いコンテナ取扱高のある世界有数の国際港。旧釜山新港での倉庫建設を進めてきた。

同社は韓国の大宇ロジスティクスとの合弁で、平成十八年に釜山国際物流(BIDC)を設立。釜山新港での倉庫建設を進めてきた。十九年六月から第一期として、床面積約二万一千五百平方メートルの一般倉庫、同約千平方メートルの危険物倉庫などが稼働を始めている。

福岡運輸システムネット(本社・福岡市、山口善久社長)が中心となって建設を進めてきた韓国の床面積がある。

今回完成したのは第二期分の一般倉庫。平屋建てで約三万四千平方メートルの床面積がある。